**第２回基幹病院等連携強化実行会議（Ｈ29.3.30）議論の結果**

**議題１　難治性・希少性疾患の集約について**

集約の対象となる３疾患（難治性てんかん，角膜移植を必要とする角膜疾患，再生不良性貧血）及び集約先の病院について，広島県のホームページ及び広島県医師会速報に掲載したこと，引き続き集約の対象となる疾患の拡充を検討することについて事務局から報告があった。

**議題２　脳・循環器疾患の拠点病院構想について**

　厚生労働省の「脳卒中，心臓病その他の循環器病に係る診療提供体制の在り方に関する検討会」において検討している「高度な専門的医療を行う施設」等の方向性を見極めながら，引き続き議論を行うこととなった。

**議題３　小児医療体制の効率化・高度化について**

病院経営や専門医確保の困難性を考えると，小児専門病院を整備するより，総合病院に併設した小児医療センターにおいて１次救急から３次救急までを系統的に診ることができる体制が理想であるという意見や，人材育成という観点から，基幹病院間で医師の配置ローテーションを組んでキャリアパスの仕組みをつくる方法も検討すべきという意見もあり，引き続き議論を行うこととなった。

**議題４　救急医療体制について**

２次救急患者に対応する輪番病院の負担軽減を図るとともに，重症患者がより短時間のうちに必要な医療を受けることができる体制づくりが課題であり，外傷の軽症患者を受け入れる医療機関の整備と基幹病院によるバックアップ体制について検討することとなった。